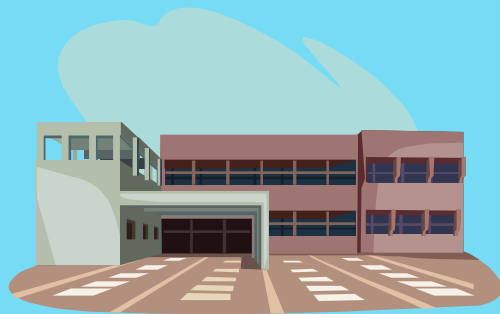


第2回進路説明会

令和4年10月15日（土）

第3学年 キャリア教育推進部





令和5年度都立高校入試

主な変更点

(コロナ禍前との変更点)

出願手続き（入学願書提出方法）

入学願書等は、原則として**郵送**により家庭から提出。（高校が指定する郵便局に必着）

【対象】 推薦に基づく選抜
第一次募集・分割前期募集
（チャレンジスクール、定時制課程単位制も含む。）

※全校で行う。

検査日時

◇検査日程（一般）

原則として検査を**1日**で実施（一般）

◇学力検査自時程（一般）

検査と検査の間の休憩時間を**30分**にして実施
（8：30集合、終了時刻3：40）

※トイレの密を防ぐ。検査会場の換気を行う。

【対象】 推薦に基づく選抜
第一次募集・分割前期募集、
海外帰国生徒対象の選抜追検査

合格者の発表及び入学手続き

合格者の受験者一覧を**ウェブサイト**に掲載

従来どおり、合格者の受験者一覧の校内掲示も併せて行う。

全日制：午前 8 時30分（ウェブサイト掲載）、
午前 9 時30分（校内掲示）

定時制：午前 8 時30分（ウェブサイト掲載）、
午後 4 時（校内掲示）

- 入学手続きは、入学願書提出校で行う。
- 入学手続きの際の密を避けるため、**受験番号等により入学手続きの時間を指定**する。

本人得点の開示及び 学力検査における答案の開示

◇不合格者の受付開始日

「合格発表日」



「入学手続締切日の翌々日」

※入学手続者と開示請求者が、同日に都立高校に来校し、密になることを避ける。

推薦に基づく選抜

◇一般推薦検査内容

令和5年度選抜も、**集団討論を実施しない。**

◇文化・スポーツ等特別推薦

令和5年度選抜も、**「実績等を証明する書類の写し」の提出を求めない。**

インフルエンザ等学校感染症罹 患者等に対する追検査

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の感染者等



インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の感染者等に加えて、**新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる者として**学校保険安全法第19条により**中学校が出席停止を行った者なども対象者に含める。**

インフルエンザ等学校感染症罹 患者等に対する追検査

◇日程 一日で実施

◇会場 ○学力検査会場

東京都教職員研修センター又は東京都
立川合同庁舎

○学力検査以外の検査会場

原則各都立高校

男女別定員制の緩和

◇募集人員の2割に相当する人員を、男女合同の綜合成績の順により決定し、合格候補者とする。

◎今年度は全都立高校（普通科）で実施



将来的には男女別募集の廃止になる！

昨年度⇒10% 今年度⇒20% 来年度⇒廃止

※普通科・コース制、エンカレッジ、単位制、専門学科総合学科、定時制などはもともと男女総合順位で合格者を決定していたので、実質全都立高校で実施になる。

男女別定員制の緩和とは

- ▶ 都立 A 高校 定員 男子20名 女子20名 計40名
- 受検者 男子23名 女子22名 計45名

男子 19名合格

1	853点	◎
2	846点	◎
3	837点	◎
4	830点	◎
5	822点	◎
6	815点	◎
7	808点	◎
8	801点	◎
9	794点	◎
10	787点	◎
11	780点	◎
12	773点	◎
13	766点	◎
14	759点	◎
15	752点	◎
16	725点	◎
17	724点	☆
18	722点	☆
19	721点	☆
20	716点	×
21	705点	×
22	696点	×
23	682点	×

女子 21名合格

1	874点	◎
2	872点	◎
3	870点	◎
4	868点	◎
5	866点	◎
6	864点	◎
7	862点	◎
8	860点	◎
9	858点	◎
10	856点	◎
11	854点	◎
12	852点	◎
13	850点	◎
14	848点	◎
15	846点	◎
16	744点	◎
17	743点	☆
18	742点	☆
19	732点	☆
20	726点	☆
21	722点	☆
22	711点	×

男女別緩和による合格

17	743点女子	☆
18	742点女子	☆
19	732点女子	☆
20	726点女子	☆
21	724点男子	☆
22	722点男子	☆
23	722点女子	☆
24	721点男子	☆

- ▶ 男女 8割までそれぞれ合格。(16名)
- ▶ 残り 2割 (8名) は男女合同
- ▶ 総合順位で決定。

男子合格者 19名
女子合格者 21名

エンカレッジスクール及び チャレンジスクール

エンカレッジスクールとして指定された高校

蒲田高校、足立東高校

東村山高校、秋留台高校

中野工業高校、練馬工業高校

チャレンジスクール及び八王子拓真高校（チャレンジ枠）

六本木高校、大江戸高校、世田谷泉高校

稔ヶ丘高校、桐ヶ丘高校、

八王子拓真高校（チャレンジ枠）

募集を開始する、停止する学校

募集を開始する学校

- ・立川高校（創造理数科）※昨年度
- ・赤羽北桜（昨年度）※一昨年度
- ・小台橋高校（定時制・チャレンジスクール）※昨年度

募集を停止する学校

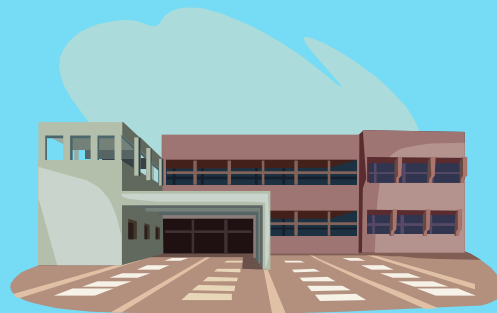
- ・都立両国、都立大泉（昨年度）
- ・富士高校（一昨年度）
- ・武蔵高校（一昨年度）
- ・白鷗高校（今年度）

※中高一貫校すべてが高校からの入学を行わないことになる。

名称の変更

工業高等学校⇒工科高等学校

- ・蔵前工業
- ・墨田工業
- ・中野工業
- ・杉並工業
- ・荒川工業
- ・北豊島工業
- ・練馬工業
- ・足立工業
- ・本所工業
- ・葛西工業
- ・府中工業
- ・町田工業
- ・小金井工業
- ・多摩工業
- ・田無工業



都立高校の入試制度について

東京都教育庁都立学校教育部
高等学校教育課入学選抜担当

(引用抜粋)

都立高校の入試の種類

推薦に基づく選抜 (推薦入試)

一般推薦

文化・スポーツ等特別推薦
・理数推薦 (都立立川)

学力検査に基づく選抜 (一般入試)

第一次募集・分割前期募集

分割後期募集・第二次募集

推薦入試の目的と応募資格

【目的】

基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

【応募資格】

志願する都立高校を第一志望とする者で、一般推薦（文化・スポーツ等特別推薦）に志願する意思があり、在学している中学校の校長の推薦を受けた者

文化・スポーツ等特別推薦の状況

	令和5年度選抜	令和4年度選抜
実施校数	88校(理数1校)	92校(理数1校)
実施種目(延べ)	詳細は今後	294種目
募集人員	詳細は今後	1000人
応募倍率		1.96倍

清瀬中学校推薦基準

【基本方針】

- 1 中学校生活の態度が望ましく、かつ入試後や上級学校進学後も継続が期待できると思われる生徒を推薦する。
- 2 強い意志と目的意識をもって上級学校的生活を送れると期待できる生徒を推薦する。

【具体的な推薦の条件】

1 推薦にふさわしい生徒であること。

挨拶、言葉づかい、約束を守るなどの基本的な生活習慣がしっかり身につけており、まじめに学校生活を送る生徒であること。

- ① 授業や行事、委員会、係活動等に対して真摯に臨むことができる。
- ② 提出物や宿題がしっかりとできている。
- ③ 登校時間、チャイム着席などの時間を守っている。
- ④ 無断欠席、授業妨害、無断欠課をしない。
- ⑤ 学校のきまりをよく守って生活することができる。
- ⑥ 暴言や暴行行為、いじめや破壊行為などがなく安定した生活を送ることができる。

2 社会一般のルールを守っていること。

喫煙・万引き等の触法行為がない。

3 高校等の上級学校が示す推薦基準を満たしていること。

以上の点を満たす生徒であるかについて、全教職員で検討し、校内推薦会議の内申を受けて校長が責任をもって高校等に推薦します。

文化・スポーツ等特別推薦

【目的】

- 各都立高校の個性化・特色化の推進
- 卓越した能力をもつ生徒の力を評価

【提出書類】

○ 文化・スポーツ等特別推薦書

各都立高校が志願者に配布した様式を用いる。

※今年度も、活動の実績等を証明する書類等の写しの提出はありません。

※ 同一校の一般推薦に併せて出願することが可能

推薦入試の合否判定

必
須

- ◆調査書点
(綜合成績の50%以下)
- ◆個人面接点 (集団討論なし)

選
択

- ◇小論文点又は作文点
- ◇実技検査点
- ◇学校設定検査点

綜合成績

※『自己PRカード』
は個人面接の資料と
して活用します。

個人面接の内容

推薦入試は「思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力」や「コミュニケーション能力」などを評価し、選抜することを目的としています。

そのため、一般推薦では『個人面接』を実施します。

出願の動機・理由、興味・関心、規範意識・生活態度や自己PRカードの記載内容などを確かめ、これまでの経験を今後の高校生活で生かせる力があるかなどを確認します。

【評価の観点の例】

- 相手の意見を正しく理解し、自分の考えを相手に的確に伝える力
(コミュニケーション能力)
- 入学の熱意と入学後の目標を具体的に説明する力
(出願の動機・進路実現に向けた意欲)
- 入学後の生活全般に対する心構えを具体的に説明する力
(規範意識・生活態度)

● 過去の推薦入試 小論文・作文のテーマの例

【小論文】

貿易と関税に関する資料3点をもとに、日本で衰退した主要産業を解答し、貿易協定を結ぶことの影響と少子高齢化が進む社会状況を考察して、自分が望ましいと考える将来の日本の産業の姿を述べなさい。

【作文】

日本経済団体連合会が平成30年4月に公表した「高等教育に関するアンケート結果」によると、「主体性」が、産業界が学生に求める資質・能力の第1位となっています。それではなぜ「主体性」が大切とされるのでしょうか。具体的な体験あるいは例を挙げて、あなたの考えを書きなさい。

各検査における評価の観点等の公表

一般推薦を実施する都立高校は、自校のホームページで各検査における評価の観点等を公表します。

【評価の観点】（事前）

10月1日以降の最初の学校説明会までに公表されます。

※ 具体的な内容やテーマは、事前に公表はされません。

【得点分布】（事後）

個人面接点、小論文点、作文点、実技検査点等の分布状況が、3月上旬を目安に公表されます。

【テーマ等】（事後）

※ 令和4年度東京都立高等学校入学者選抜における推薦に基づく選抜で実施した小論文・作文、実技検査のテーマ等は東京都教育委員会のホームページで公表しています。

一般入試の合否判定

学力検査の得点
700点

調査書点
300点

総合得点
1000点

スピーキングテスト20点
(A20 B16 C12 D8 E4 F0)

※面接点
小論文点又は作文点
実技検査点 等

※学力検査をしない
高校（エンカレッジ
スクール）は面接・
小論文は必ずあります。

総合成績
1020点

※学力検査と面接、両
方行う高校はありません。一部の専門学
科では実技検査が加
わるところがあります。

学力検査の得点と調査書点の比率等

【全日制課程】

募集	学力検査の教科数	学力検査の得点と調査書点の比率
第一次募集・ 分割前期募集	5教科 (国・数・英・社・理)	7 : 3
分割後期募集・ 第二次募集	3教科 (国・数・英)	6 : 4

※ 学校によっては、学力検査に加え、面接、小論文又は作文、実技検査を実施する場合があります。

※ 「体育科」「芸術科」の学校は、3教科(国・数・英)、6 : 4になります。実技検査を行います。

学力検査の得点と調査書点の比率等

【全日制課程以外】

募集	学力検査の教科数	学力検査の得点と調査書点の比率
第一次募集・分割前期募集	5教科(国・数・英・社・理)の中から3教科以上	7 : 3 又は 6 : 4
分割後期募集	3教科(国・数・英)	6 : 4 又は 5 : 5
第二次募集	5教科(国・数・英・社・理)の中から3教科以上	6 : 4 又は 5 : 5

※ 面接を必ず実施します。

※ 学校によっては、学力検査及び面接に加え、小論文又は作文、実技検査を実施する場合があります。

※ 通信制課程における学力検査の教科数、学力検査の得点と調査書点の比率は、各学校が定めます。

調査書点の算出

学力検査	評定を1倍	評定を2倍	評定の満点
5教科	国・数・英・社・理	音・美・保体・技家	65点
3教科	国・数・英	社・理 音・美・保体・技家	75点

例えば、次のような評定のAさんが、学力検査が5教科、学力検査の得点と調査書点の比率が7：3の学校を受検する場合

国	数	英	社	理	音	美	保体	技術
5	3	5	4	3	3	4	5	3

$$(5 + 3 + 5 + 4 + 3) \times 1 + (3 + 4 + 5 + 3) \times 2 = 50 \text{点}$$

$$50 \text{点} \times 300 \text{点} \div 65 \text{点} = \underline{230 \text{点}} \quad ※ \text{小数点以下切り捨て}$$

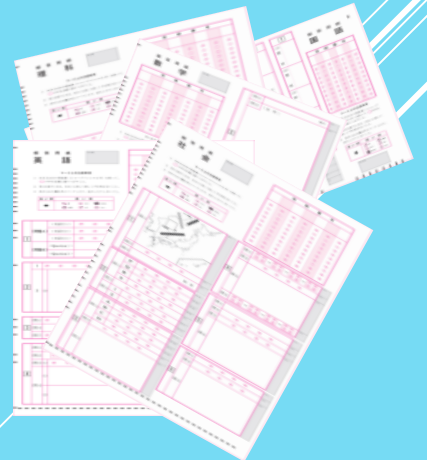
マークシート方式の実施

問題形式

- 記号選択式問題（数値のみで解答する問題等についてもマークシート方式で解答する場合があります。）
- 記述式問題

過去の学力検査問題については、解答用紙を含めて東京都教育委員会のホームページで公表しています。

実際に過去問などで体験しておこう！



特別措置

● 障害のある受検者に対する措置

- ・ 希望する場合は、事前の申請が必要です。
- ・ 検査問題の程度を変えない範囲で、検査方法、検査時間及び検査会場について適切な措置を講じます。（問題用紙・解答用紙の拡大、英語リスニングテストでの座席の配慮、別室受検、検査時間の延長、記号選択式での受検、ICT機器の使用など）
- ・ 推薦に基づく選抜においても、本措置申請を行うことができます。

特別措置

- 一般の学力検査における日本語指導を必要とする生徒等に対する措置
- 希望する場合は、入学願書提出時に申請が必要です。
- **国籍を問わず**、入国後の在日期間が入学日現在原則として**6年以内**の受検者に措置を講じます。
- 中学校在籍中に日本語指導を受けている者又は日本語が未習熟のため特別な拝領を要する者
(共通問題にひらがなのルビを振る措置)

特別措置

- 一般の学力検査における外国籍の受検者に対する措置
- 希望する場合は、入学願書提出時に申請が必要です。
（「在京外国人生徒の都立高等学校受験に対する学力検査実施上の措置申請書」「住民票記載事項証明書」が必要）
- **外国籍を有し**、入国後の在日期間が入学日現在原則として**3年以内**の受検者に措置を講じます。
（ひらがなのルビを振った学力検査問題等での検査の実施、辞書の持ち込み（電子辞書を除く）、検査時間延長の措置）

本人得点の開示について

- 学力検査の結果を知るためには

① 本人得点の開示

学力検査等得点表

(学力検査の結果に加えて、評定やその他の検査の結果も含め、入試の区分(推薦・一次等)ごとに一覧で表示)

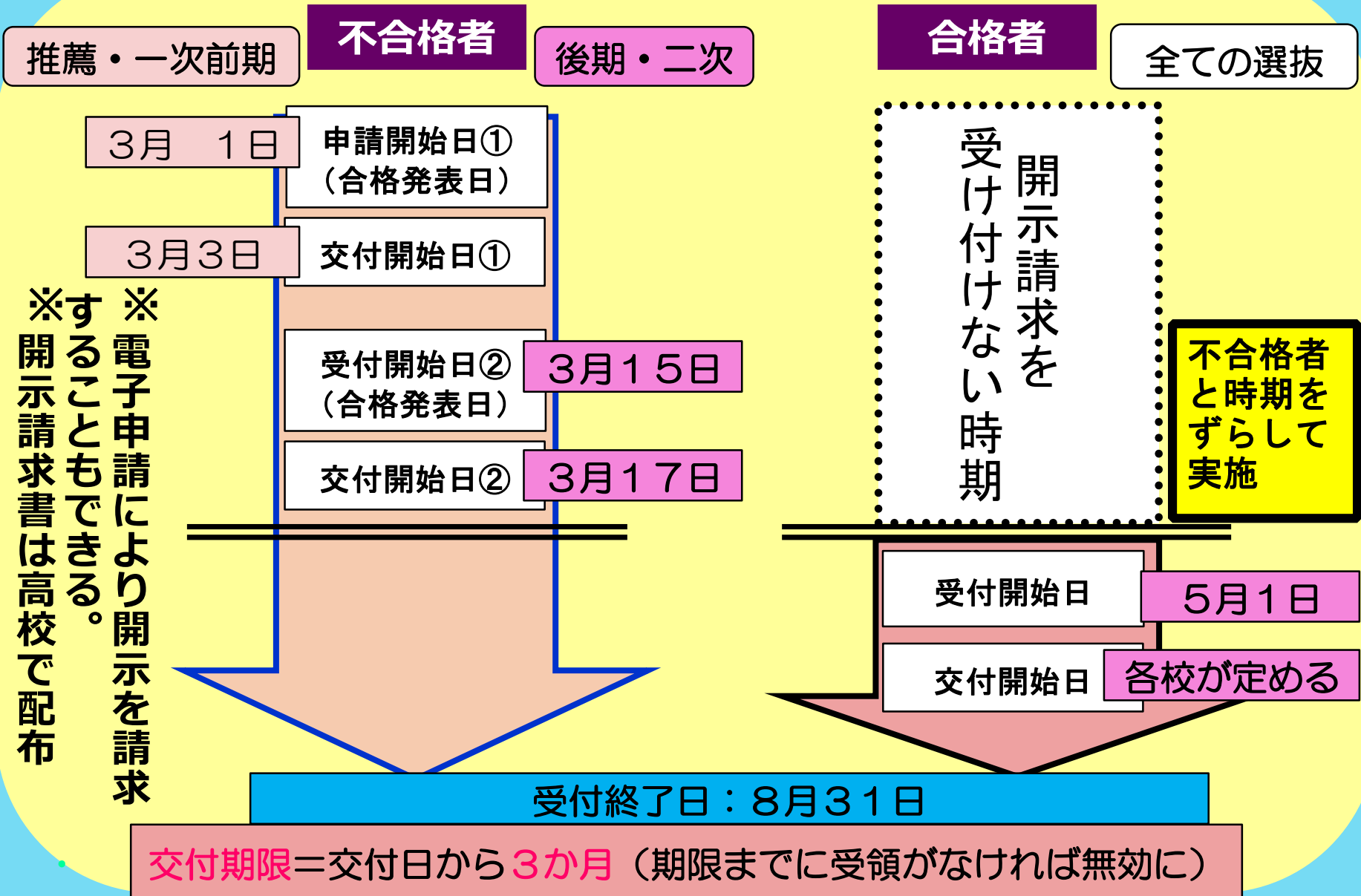
開示請求方法 受検した高校に請求

② 答案の開示

開示請求した教科の答案の写し

開示請求方法 受検した高校に請求

本人得点の開示について



インフルエンザ等学校感染追検査

【応募資格】

第一次募集の検査日当日に、インフルエンザ等に罹患した者又は出席停止者で、第一次募集で出願した都立高校を受検することができなかった者のうち、追検査の措置を申請し、当該都立高校長から承認を得た者。

※新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる者として学校保険安全法第19条により中学校が出席停止を行った者なども対象者に含める。

インフルエンザ等学校感染症罹患者に対する追検査

【出願方法・手続き】

- ◆ 第一次募集において、第一志望とした学校に限り出願することができる。
- ◆ 追検査に出願した者は、分割後期募集・第二次募集に出願することはできない。
- ◆ 追検査においては、出願変更はできない。

【出願に要する書類】

- ◆ 追検査用の入学願書（様式32）は、2月中旬に区市町村教育員会に送付予定

令和4年度入学者選抜の主な日程

	入学願書 受付	取下げ 再提出	検査	発表
推薦入試	1/12(木) ～ 1/18(水)	—	1/26(木)・ 27(金)	2/2(木)
第一次募集・ 分割前期募集	2/1(水) ～2/7(火)	2/13(月) 2/14(火)	2/21(火)	3/1(水)
分割後期募集 ・第二次募集	3/6(月)	3/7(月) 3/8(火)	3/9(木)	3/15(水)

令和3年度入学者選抜の主な倍率

◎推薦に基づく選抜

令和3年度 2.77倍 ⇒ 令和4年度 2.52倍
↘

◎第一次募集・分割前期募集

令和3年度 1.32倍 ⇒ 令和4年度 1.36倍
↗

◎分割後期・第二次募集

令和3年度 0.36倍 ⇒ 令和4年度 0.35倍
↘

私立高校、高等専修学校 各種学校、就職など

詳細は各学校の要項をご覧ください。

Decorative white lines consisting of several parallel diagonal strokes in the bottom right corner of the page.

私立高校入試のポイント

大前提は
人間性です！

校名	内申基準等	その他の条件等	推薦入試日・内容
A	推薦 [特進] 5科18 [普通] 9科25 一般併願 [特進] 5科19 [普通] 9科27 ◎ 9科に「1」不可 ◎ 3年間の欠席20日以内	特進 各種検定準2級 ・・・+1 普通 各種検定3級 3年間皆勤 部活動3年間 生徒会役員・学級代表・各委員長 ・・・+1	1 / 2 2 作文 (40分600字) 面接(個人)

校名	内申基準等	その他の条件等	推薦入試日・内容
B	<p>推薦</p> <p>[特進] 3科14 <u>かつ</u> 5科23</p> <p>[普通] 5科22</p> <p>一般(併願)</p> <p>[特進] 3科14 <u>かつ</u> 5科23 <u>かつ</u> 9科39で加点</p> <p>[普通] 5科22 <u>かつ</u> 9科38で加点</p> <p>◎評定に「1」「2」不可</p> <p>◎欠席・遅刻・早退が各学年で5日以内</p>	<p>加点措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英検3級以上は英評定3→4 ・併願優遇は当日の入試得点に30点を加点 	<p>1 / 2 2</p> <p>作文 (50分800字)</p> <p>面接 (グループ)</p>

受験のパターン

	都立推薦	私立併願	都立一般	備考
① 一般で受検のみ			受検	いわゆる「都立一本」 都立一般に不合格の場合 全日制の高校には入れないので、一般入試は受検校をよく考えて選ぶ
② 推薦で受検 ×の場合一般も受検	受検		(受検)	
③ 一般で受検 私立を併願優遇		受験	受検	私立入試相談の必要あり 都立受検の前に 私立併願優遇を受験
④ 推薦で受検 (×の場合一般も) 私立を併願優遇	受検	(受験)	(受検)	私立入試相談の必要あり 都立推薦で合格した場合 私立併願優遇は受験しない

受験のパターン②

	私立推薦	私立併願	私立一般	都立一般	備考
⑤ 推薦受験	受験				要入試相談
⑥ 推薦受験（受験資格） ×の場合一般も受験	受験		（受験）		要入試相談
⑦ 推薦受検（受験資格） ×の場合一般も受検 他の私立も併願優遇	受験	（受験）	（受験）		推薦と併願優遇について 要入試相談
⑧ 推薦受験（受験資格） ×の場合一般も受験 都立を押さえで受検	受験		（受験）	（受検）	要入試相談 推薦が決まれば 都立は出願の必要なし
⑨ 第一志望受験（一般）			受験		要入試相談
⑩ 一般受験（複数可） 都立を第二志望、 私立を併願優遇		受験	受験	受検	併願優遇校について 要入試相談
⑪ 一般受験（複数可） 私立を併願優遇		受験	受験		併願優遇校について 要入試相談
⑫ 一般受験（複数可） おさえに都立を受検		受験		（受検）	私立が決まれば 都立は受検しない

私立高校 東京方式と埼玉方式の違い。

☆東京方式（推薦資格を除く）東京都私立高校、一部埼玉県等私立高校

◎推薦、併願基準が主に2学期の成績によって定められている。（3科、5科、9科の基準、orやandもある）



必ず、入試相談を通す。

☆埼玉方式

埼玉県私立高校、一部東京都私立高校

◎推薦、併願基準を2学期の成績や会場テストの偏差値などで決定する。また、個別相談・個別説明会などを通さないと出願できない学校もある。



入試相談はない。

※どちらの方式も可能な高校や個別相談（埼玉方式であるが）、入試相談も行う高校もあるので、注意！！（説明会で詳細を聞く）

東京都在住の生徒が埼玉県の私立高校に通う場合の授業料免除について(他県に行く場合)

都道府県在住	同じ都・県の私立高校に通う	他都・県の高校に通う	独自の制度
東京都	○	○	×
埼玉県	○	×	×
神奈川県	○	×	×
千葉県	○	×	○

私立高校の学費負担を軽減するための制度は、①国の助成②都の助成で賄えます。国の助成金は年収により、支給額が変わりますが、その差額を都の助成金で埋める制度です。この②については都道府県によって制度が違います。

東京都在住の方は他県の私立高校に通っても都の制度が受けられます。ちなみに、埼玉県在住の方が東京都の私立高校に通う場合は、都の制度も埼玉県の制度も受けられません。千葉県の独自の制度は、埼玉県在住の方が千葉県の高校に通う場合、埼玉県の制度も千葉県の制度も受けられませんが、千葉県独自の私立高校への補助金（生徒へ）により、千葉県から受けられるという制度です。しかし、千葉県在住の方が埼玉県に通う場合は、千葉県の制度も埼玉県の制度も受けられないということのようです。いずれの場合も「国」からの制度は受けられます。

これからの流れ（10月）

10月	15(土)	第2回進路説明会
	21(金)	第4回進路希望調査配布 面談日程通知
	28(金) 下旬	進路希望調査×切 高校の先生による面接のお話

進路説明会では都立高校の入試についての詳細や、今後の受験についての具体的な話をします。今年度は都立入試の出願などの方法や時期が大きく変わるため、ポイントを抑え理解しましょう。

これからの流れ（11月）

11月	1(火)～	進路面談始（午後）
	8(火)	進路面談終（午後）
	中旬	面談日程希望配布
		面談日程希望提出×切
	16(水)～	期末考査始
	18(金)	期末考査終
	21(月)	第3回確認テスト 受験用写真撮影 面談日程通知
下旬～	最終進路希望調査配布	
月上旬	最終進路希望調査提出×切	

11月では、1学期の成績、第2回確認テスト、第4回進路希望調査をもとに三者面談をおこないます。この段階ではできるだけ志望校を絞っておくことが望ましいです。特に併願優遇制度を利用して受験する私立高校は、内申を考えて、丁寧に絞っておきましょう。

これからの流れ（12月）

12月	5(月)～	進路面談始（午後）
	9(金)	進路面談終（午後） 調査書作成願提出 <u>私立高校入試申込締切</u>
	15(木) 23(金)	私立高校入試相談開始 終業式

12月の三者面談で、最終的に志望校を決定します。調査書作成願や推薦・併願優遇受検をする人は推薦・併願優遇願をこの面談で提出します。私立高校の単願、併願受験をする人は15日の入試相談を通さなければなりません。その後の変更はできません。

これからの流れ（1月）

1月	上旬	埼玉県私立高校単願推薦出願
	10(火)	始業式
	中旬	私立高校推薦入試出願
	12(木)	都立推薦入試出願開始
	18(水)	都立推薦入試出願終了
	22(月)～	私立高校推薦入試・合格発表
	25(水)～ 26(水)・27 (木)	私立一般入試出願 都立推薦入試当日

受験は出願することから全てがはじまります。今年度も新型コロナウイルス対策で都立の出願方法が大きく変わり、出願時期も早まりました。受験料の振り込みや都立推薦の自己PRカードなど、冬休み中には済ませておきます。出願は期限を1日でも遅れると受験できませんから、早めの準備が必要です。

これからの流れ（2月）

2月	1(水)～	都立一次出願開始
	2(木)	都立推薦発表・手続き
	7(火)	都立一次出願終了
	10～	私立一般入試当日
	11～	私立一般入試合格発表 都立一次願書取り下げ 都立一次願書再提出
	21(火)	都立一次入試当日
	22(水)	学年末考査(1日目)
	24(金)	学年末考査(2日目)

※都立高校の出願は各家庭から、出願期間に都立高校が指定する郵便局に必着（郵便局留）

コロナ禍前の高校への持参や学校からの郵送ではありません。（願書）願書以外の必要書類は中学校から送ります。

これからの流れ（3・4月）

3月	1(水)	都立一次発表・手続き
	6(月)	都立二次出願
	7(火)	都立二次願書取り下げ
	8(水)	都立二次願書再提出
	9(木)	都立二次入試
	15(水)	都立二次発表・手続き
	17(金)	卒業式
	22(水)	都立定時制二次出願
	23(木)	都立定時制二次願書取り下げ
	24(金)	都立定時制二次願書再提出
	27(月)	都立定時制二次入試
	28(火)	都立定時制二次発表・手続き
4月		都立通信制出願・入試・発表

本日はご清聴
ありがとうございました。

- ▶ 今後とも保護者の皆様とともにお子様の進路決定へ向け、話し合いを進めてまいりたいと思います。
- ▶ 来月より始まる三者面談へ向け、ご家庭でもお話を深めていただければと思います。何とぞよろしくお願いいたします。



終